

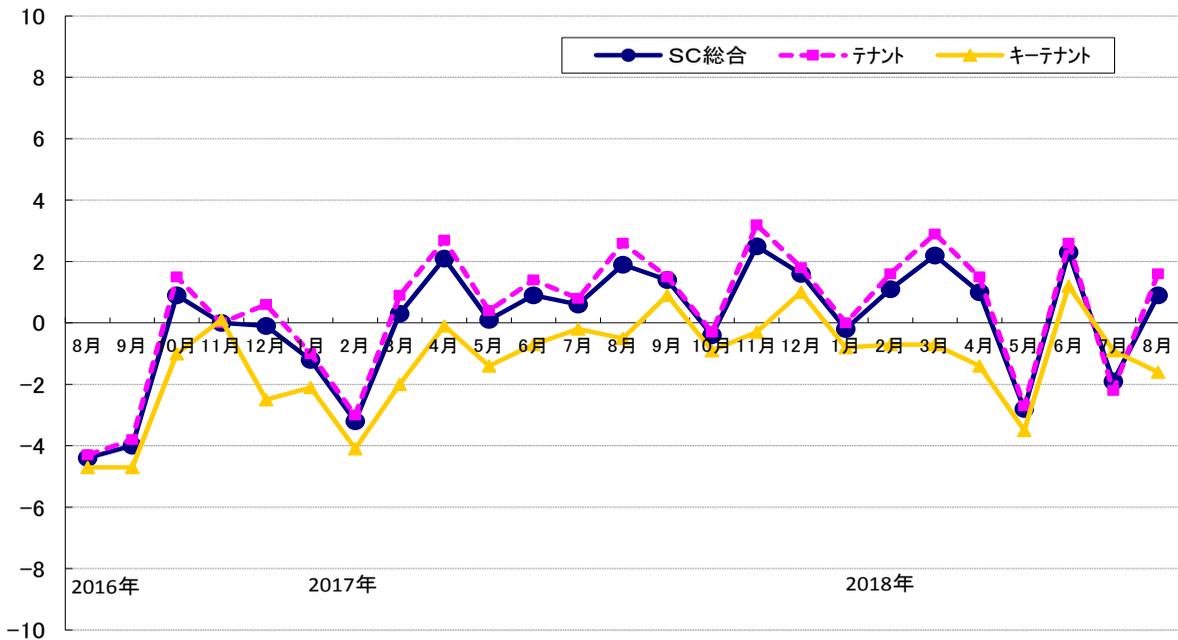
報道関係各位

**SC販売統計調査報告2018年8月 既存SC前年同月比 :+ 0.9%**  
**夏休みのイベント効果や観光客増により堅調に推移**

< 2018年8月度・全体概況 >

- 8月度の既存SC売上高は、総合で前年同月比0.9%と2ヶ月ぶりに前年を上回った。前年より休日が1日少なく、7月と同様に台風や猛暑の影響による客足減というマイナス要因はあったものの、夏休みのイベント効果や観光客増により売上を伸ばしたSCも多かった。シネコンを併設したSCでは映画興行の好調による集客増もプラス要因となった。
- 立地別・構成別をみると、中心地域・大都市がテナント(前年同月比+3.9%)、キーテナント(同+4.1%)ともにプラスとなり、全体を牽引した。一方、中心地域・大都市のキーテナントは同▲4.9%と苦戦した。
- 立地別・地域別では、北海道が中心地域(前年同月比+3.8%)、周辺地域(同+6.4%)と好調であった。インバウンド効果や夏休みの観光客で来街が増えたことに加え、月後半の気温の低下とともに秋物衣料が動き出した。近畿は台風20号のため閉店時間を繰上げたSCも見られたが、中心地域は同+8.5%と好調で、周辺地域が同▲0.9%となったものの、全体としては同+1.5%と前年を上回った。
- 都市規模別では、政令指定都市の総合が前年同月比+2.5%、その他の地域が同▲0.1%となった。政令指定都市は総合でみると、大阪市(同+7.7%)と福岡市(同+7.1%)が前年を大きく上回った。一方で7月に豪雨被害が大きかった広島市が同▲5.3%となり、前月の同▲11.3%よりは復調したものの依然として厳しい状況が続いた。政令指定都市を除くその他の地域では北海道(同+6.3%)以外は、前年並みか前年を少し下回る結果となった。
- テナントの業種毎の好調をみると、飲食が好調との回答が最多となった。夏休み中の子どもをターゲットにしたイベント効果でファミリー客の来館が増えフードコートの好調に繋がったとの回答もみられた。また、猛暑により冷たい飲物やソフトクリーム需要が伸びたとの回答もみられた。

既存SC売上高伸長率推移



この件に関するお問い合わせは 情報企画部:金田・菰田・高橋  
TEL:03-5615-8524

※お手数をおかけ致しますが、掲載紙・誌をお送りくださいますようお願い申し上げます。掲載部分をファクシミリにてお送りいただいても結構です。



一般社団法人 日本ショッピングセンター協会

広報担当：高橋・村松・大内・浅田  
Tel. 03-5615-8524 / Fax 03-5615-8539  
Mail. pr@jcsc.or.jp